

販売終了製品のご案内

本カタログに掲載されている **ポリグラウト S-200** は
2020年12月末日をもって販売を終了させていただいております。

本製品の代替品として、
ポリグラウトM-2 のご提案が可能です。

詳しくは下記まで、
お気軽にお問い合わせください。

第一建工(株)
TEL : 03-3275-0583

水を使って水を止める

ポリグラウト[®]

POLYGROUT



第一工業製薬

ポリグラウトとは

- **ポリグラウト**は、漏水と反応させて水を止めるウレタン系注入止水材です。
- **ポリグラウト**は、水と化学反応して固結体になり、止水します。
- **ポリグラウト**は、約30年の販売実績があり、コンクリート構造物の厄介な漏水の止水工事に役立っています。

ポリグラウトの特長

特長	タイプ	親水性ゲルタイプ	疎水性発泡タイプ
水が硬化剤です		水、海水を硬化剤として活用します。	水、海水を硬化剤として活用します。
硬化性が優れています		水に溶解分散し、短時間でゲル化します。	水と反応し（溶解せず）発泡硬化します。 ポリグラウトCA （触媒）により硬化時間を調整します。
強固な硬化物を形成します		強固なゴム弾性ゲルを形成します。 （水中では吸水膨潤し、空気中では乾燥収縮します）	硬質発泡硬化物を形成します。 耐久性、耐アルカリ性良。 吸水膨潤なし。

ポリグラウトの基本物性と荷姿

項目	製品名	親水性ゲルタイプ		疎水性発泡タイプ	
		ポリグラウト M-2	ポリグラウト S-200	ポリグラウト O-10	ポリグラウト CA（触媒）
外 観		褐色液体	淡黄色液体	褐色液体	淡黄色透明液体
粘 度 (mPa・s/25℃)		800~2,000	100~160	50~150	2~10
比 重 (20℃)		1.04~1.20	(約 0.99)	1.02~1.10	0.83~0.89
臭 気		微	あり	あり	あり
引 火 点 (℃)		108	-3	202	118
消防法危険物 指定数量		第4類第3石 2,000ℓ	第4類第1石 400ℓ	第4類第4石 6,000ℓ	第4類第3石 2,000ℓ
備 考		—	メチルエチルケトン 25~35% (有機則2種) TDI 2~5% (特化則2類) 用途：下水道管止水	—	—
荷 姿		缶入 18kg詰	缶入 16kg詰	缶入 18kg詰	缶入 800g詰

表示数字は代表値を示します。

ポリグラウトの注入方式

タイプ	親水性ゲルタイプ	疎水性発泡タイプ
注入方式	2液圧送先端混合1液注入方式	ハンドポンプを用いて、1ショット法で注入
	A：ポリグラウト 10~30部 B：水 90~70部	あらかじめ CA （触媒）を配合し、注入する。 ポリグラウト O-10 100部/ CA 2~5部 (注)漏水がない場合は、コンクリートクラック内部に水を注入してください。

ポリグラウトの注意事項

取り扱いおよび保管上の注意

1. 本製品を試験室、または製造現場でご使用になる場合は、使用前に必ず当社発行のSDS（安全データシート）を熟読のうえ、記載された注意事項などを厳守してください。
2. **ポリグラウト M-2、O-10**は、MDI系（ジフェニルメタン-4,4'-ジイソシアネート1%以上含有）無溶剤タイプの注入材です。**ポリグラウト S-200**は、遊離トリレンジイソシアネート（TDI）や、有機溶剤（メチルエチルケトン）を含有していますので、多量に蒸気を吸入したり、皮膚に付着すると呼吸障害や中毒を引き起こす恐れがあります。**ポリグラウト CA**は、アミン成分を含んでおり、眼、皮膚および粘膜を刺激します。また皮膚に付着したまま放置した場合、やけどを引き起こす恐れがありますので、直接身体に触れないように注意してください。
3. **ポリグラウト**類の取り扱いや注入止水作業に当たっては、次の事項をよく遵守してください。
 - **作業環境の換気**
局所排気装置を設け、換気を十分実施してください。
気分支障をきたした場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移ってください。
 - **保護具の着用**
保護メガネ、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用し、取り扱い後は、手洗い、うがいを十分行ってください。
皮膚に付着した場合は、すぐ多量の水で洗い、作業服に付着したものは、洗い落とすか着替えてください。
 - **応急処置**
万一、**ポリグラウト**が眼に入った場合には、直ちに多量の水で15分間洗眼し、眼科医の治療を受けてください。
 - **火気厳禁**
ポリグラウト類は消防法の危険物第4類に該当しますので、作業中や**ポリグラウト**容器には火気を絶対に近づけないよう「火気厳禁」扱いとし、消防法を遵守してください。
 - **作業主任者の選任**
ポリグラウト S-200は、特定化学物質障害予防規則（特化則）、有機溶剤中毒予防規則（有機則）に該当しますので、取り扱い時には法令に準じた「特定化学物質作業主任者」「有機溶剤作業主任者」の有資格者が作業を管理することが必要です。
4. 材料の保管
保管する場合は、風雨、直射日光および高温多湿を避けた屋内に貯蔵してください。

施工上の注意

親水性ゲルタイプの**ポリグラウト（M-2、S-200）**に水を混ぜると、ゴム弾性のあるウレタンエラストマーが形成されます（標準配合 **ポリグラウト**／水＝20：80）。当社では、このウレタンエラストマーを「ゲル」もしくは「固結体」と呼んでいます。親水性**ポリグラウト**と水から形成されたゲルをアルカリ性の強い水に長時間浸漬すると、ゲルが軟化し崩れてしまうことがあります。このため、コンクリートクラックの止水に親水性**ポリグラウト**を使用する場合、水が止まったことを確認した後、エポキシ樹脂やモルタルあるいはシーリング剤などで防水処理を施してください。

- **原液および高濃度注入厳禁（親水性ゲルタイプ）**
親水性ゲルタイプである**ポリグラウト（M-2、S-200）**を、原液および高濃度液（30%以上）で注入すると、その硬化物は水との接触により吸水し、過大な膨潤圧が発生し、構造物を破壊するので絶対に避けてください。
例）**ポリグラウト M-2**の発泡倍率（水溶液温度20℃）
20%水溶液：約1.6倍 30%水溶液：約2.0倍 50%水溶液：約2.3倍
- **発泡圧への配慮**
疎水性**ポリグラウト O-10**は、水との反応硬化時に生ずる炭酸ガスによる突沸や過大な発泡圧に注意してください。（注入孔1カ所当たり1kg以上の注入や、空隙への充填比率が50%以上の場合は特に注意してください。）
- **地下埋設物などへの配慮**
塩ビ管や地下埋設ケーブルなどの漏水防止のため、溶剤配合**ポリグラウト**を注入すると、悪影響がありますので絶対に避けてください。
- **周辺への逸流防止**
注入薬液が河川などへ流出しないよう十分に配慮してください。
- **飲料水関連施設への使用はできません**
このパンフレットに掲載されています製品は、水道法に定められた認定を受けておりません。飲料水に関わる施設の止水工事に使用しないでください。

お願い

1. この資料に記載しているデータは、当社の実験的試験資料に基づくものですが、実際の現場使用結果を保証するものではありません。現場での使用に当たっては事前に使用条件、使用方法およびこれらの条件下での効果をご確認ください。
2. 記載内容は、新しい知見などにより、改正されることがあります。

親水性ゲルタイプ

ポリグラウト M-2の注入止水工事 施工方法

保護具の着用

■ 注入作業時には、必ず保護具を着用してください。

作業場の整備

■ 危険物ですので、火気厳禁の作業管理をしてください。

コンクリートの削孔

○ 躯体のコンクリートクラックに沿って、注入用の孔(直径10mm、深さ100mm、間隔150mm)をドリルで削孔し、クラックの目詰まりが起きないようにエアで掘り屑を取り除いてください。

注入プラグの挿入

○ ドリルで削孔した孔に注入プラグを挿入してください。

漏水の確認

○ 注入前に漏水があることを確認してください。

注入作業

○ コンクリートクラックの最下部(水平面では最端部)の注入プラグから注入を始めてください。

■ 保護メガネ、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用してください。

■ 眼に入った場合は、直ちに水で15分間洗眼し、眼科医の治療を受けてください。

注入器具の洗浄

○ 注入作業が終わった器具(タンク・ホース)は、ウレタン用シンナー等を使って洗浄してください。

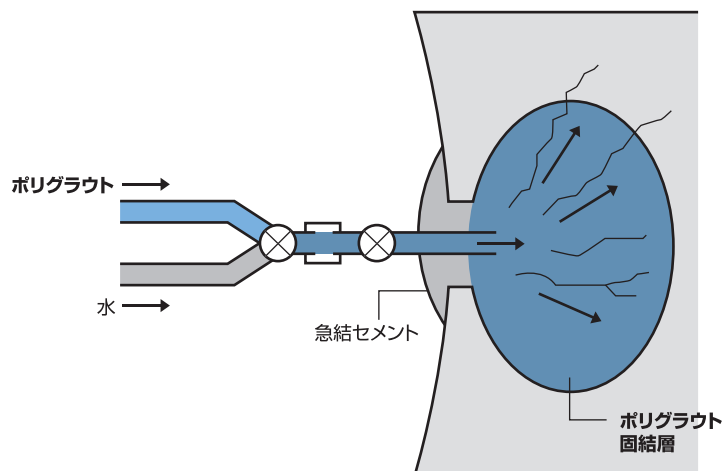
注入プラグの撤去

○ 漏水が止まったことを確認してから、注入プラグ上部の部品を取り外してください。

■ 作業後は、手洗い、うがいを十分行ってください。

■ 皮膚に付着した場合は、すぐ多量の水で洗い、作業服に付着したものは、洗い落とすか着替えてください。

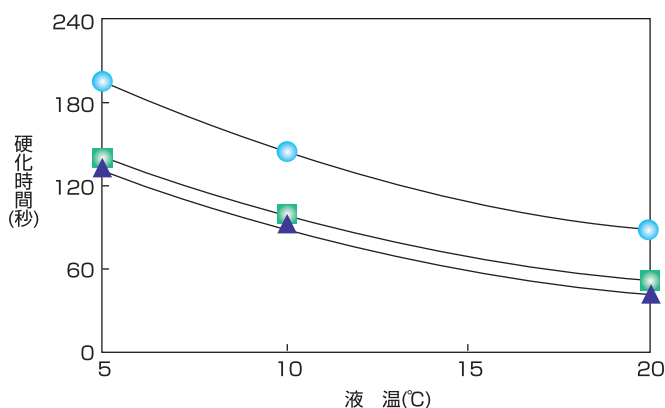
ポリグラウト M-2による止水工事例



ポリグラウト M-2の特性データ

1

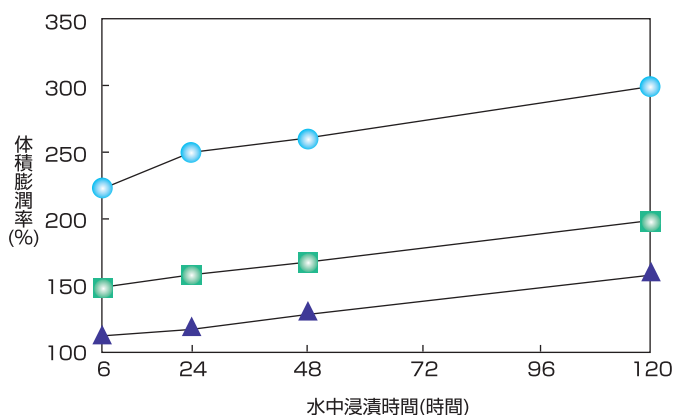
液温と
硬化時間



● 配合比(M-2/水=10/90)
■ 配合比(M-2/水=20/80)
▲ 配合比(M-2/水=30/70)

2

体積膨潤率



● 配合比(M-2/水=95/5)
■ 配合比(M-2/水=40/60)
▲ 配合比(M-2/水=20/80)

・水との配合比が50%以上の高濃度ゲル化物は、吸水して固体体積が3倍に膨張し、その膨張圧は20MPaにも達し、躯体を破壊することがありますので、原液注入はやめてください。

3

強度特性

1) 接着強度

素 材	接着強度 (N/mm ²)
湿潤コンクリート	0.15

2) 引張強度

試験条件：配合比(M-2/水=20/80)

項 目	経過時間		
	4時間	6時間	30日
引張強度 (N/mm ²)	0.05	0.10	3.00
伸び率 (%)	125	530	800

3) 一軸圧縮強度

硬化物	一軸圧縮強度 (N/mm ²)	歪み (%)
ホモゲル	0.04	40
サンドゲル	0.24	30

ホモゲル：M-2/水(=20/80)のみで構成されたゲル

サンドゲル：7号珪砂をM-2/水(=20/80)溶液で固結させたゲル

4

透水係数

試験条件：配合比(M-2/水=20/80)

硬 化 物	透水係数 (cm/秒)
サンドゲル	2.07×10^{-9}

疎水性発泡タイプ

ポリグラウト 0-10の注入止水工事 施工方法

保護具の着用

作業場の整備

コンクリートの削孔

注入プラグの挿入

漏水の確認

注入作業

注入器具の洗浄

注入プラグの撤去

■ 注入作業時には、必ず保護具を着用してください。

■ 危険物ですので、火気厳禁の作業管理をしてください。

○ 躯体のコンクリートクラックに沿って、注入用の孔(直径10mm、深さ100mm、間隔150mm)をドリルで削孔し、クラックの目詰まりが起きないようにエアで掘り屑を取り除いてください。

○ ドリルで削孔した孔に注入プラグを挿入してください。

■ **ポリグラウト 0-10**は、コンクリートクラック内部に水がないと硬化しませんので、注入前に漏水があることを確認してください。

■ 漏水がない場合は、コンクリートクラック内部に水を注入してください。

○ **ポリグラウトCA (触媒) の配合**

- ・ **ポリグラウト 0-10**は、**ポリグラウトCA**により硬化時間を調整します。
- ・ **ポリグラウトCA**を配合し、木棒等で5回程度攪拌してください。
攪拌しすぎるとタンク内で硬化が始まりますので、ハンドミキサーによる攪拌はしないでください。
- ・ **ポリグラウトCA**の配合量は、季節に応じて使い分けてください。

■ **ポリグラウトCA**は必ず配合してください。

ポリグラウトCAの配合量目安

0-10	CA(触媒)		
	冬期	春秋	夏季
18kg	0.8kg	0.6kg	0.4kg

○ **コンクリートクラックの最下部(水平面では最端部)の注入プラグから注入を始めてください。**

■ 保護メガネ、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用してください。

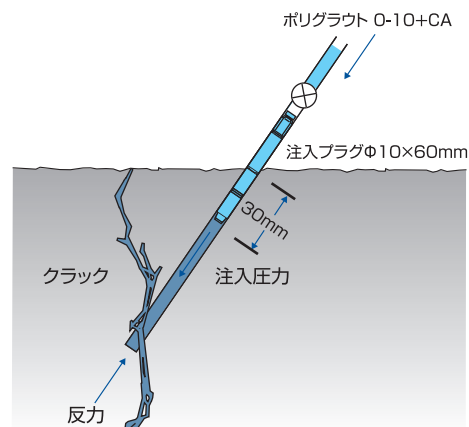
■ 眼に入った場合は、直ちに水で15分間洗眼し、眼科医の治療を受けてください。

○ **注入作業が終わった器具(タンク・ホース)は、ウレタン用シンナー等を使って洗浄してください。**

○ **漏水が止まったことを確認してから、注入プラグ上部の部品を取り外してください。**

■ 作業後は、手洗い、うがいを十分行ってください。

■ 皮膚に付着した場合は、すぐ多量の水で洗い、作業服に付着したものは、洗い落とすか着替えてください。

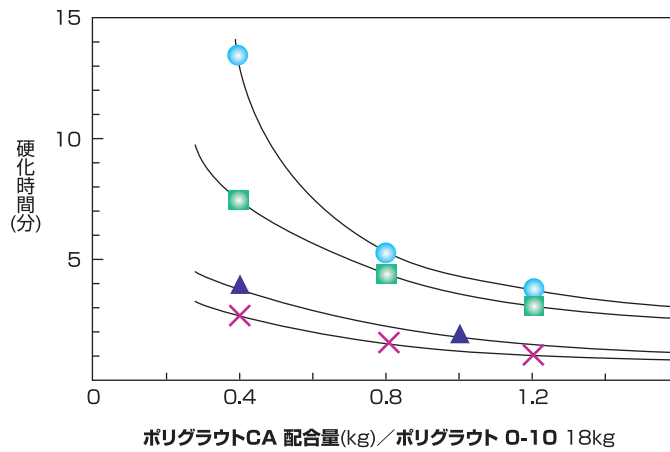


ポリグラウト 0-10による止水工事例

ポリグラウト 0-10の特性データ

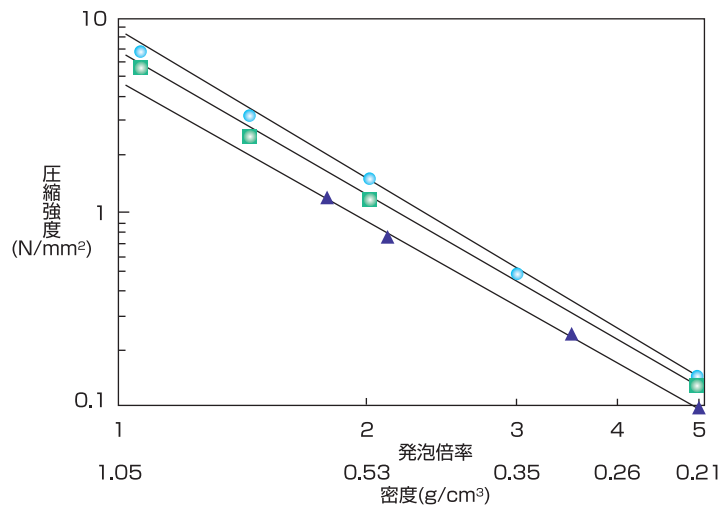
1

ポリグラウトCAの
配合量と硬化時間



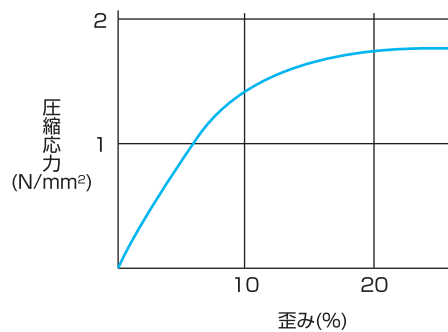
2

発泡倍率と
固結体強度



3

固結体の応力
-歪み曲線



・注入硬化した固結体は、発泡ウレタン樹脂特有の柔軟性を有しています。
荷重に対して破壊することなく、変形・応力緩和します。繰り返し圧縮荷重や振動、コンクリート構造物のムーブメントにも破壊することなく、クラックに追随した長期の止水性能を保持します。



第一工業製薬

www.dks-web.co.jp

第一工業製薬株式会社 本社・研究所/京都
東京本社 TEL 03-3275-0561
FAX 03-3275-0604

販売代理店